

【背景】

- 新型コロナウイルス感染症対策における小中学校の休業措置、外食等における需要減退により、生乳需給が緩和。
- 乳業メーカーでは、長期保存が可能なバターや脱脂粉乳、チーズ等の乳製品の製造を増産。
- 一方、酪農においては生乳が毎日生産されるため、乳製品の保管も限界に達してきている状況。

【概要】

- 牛乳を飲んでいる姿の動画の投稿にチャレンジし、SNSのフォロワーに牛乳の消費を呼びかける。
- 牛乳乳製品需要の喚起により、酪農家が安心して生乳生産できる環境づくりに貢献。



牛乳が苦手なら、飲むヨーグルトやチーズでも！！
#牛乳チャレンジ

農林水産省でも日本の牛乳を救う「プラスワンプロジェクト」をスタートさせ、牛乳やヨーグルトを普段より1本多く消費することを推進しています。

「SOS！牛乳チャレンジ」により 牛乳乳製品需要を喚起

・道内では、毎日1万トンの生乳を生産



・世界規模の感染拡大
・我が国でも緊急事態宣言を全国に拡大



・学校の休業
→ 牛乳の消費量が減少



・移動の自粛
・インバウンドや外食需要の減退
→ 生クリーム等の消費量が減少



・保管も限界に近い状態



・長期保存可能なバターやチーズの製造量を増加

